

## 敦賀市立看護大学後援会 令和5年度第2回役員会議事録

日時 令和6年1月17日(水) 19:00~19:45  
場所 敦賀市立看護大学 第1会議室  
出席者 長谷川友美会長、橋詰裕副会長、山本雄二理事、梶川和則理事、戸田裕之理事、八原和之理事  
山崎弘美教授、山本英司教務学生課長、教務学生課 金森大輔主事  
欠席者 白木禅理事、甲斐政代理事

### 1 議事

#### (1) 令和5年度役員任期満了について

事務局より、敦賀市立看護大学後援会会則に基づき役員長の長谷川会長、白木理事、梶川理事、戸田理事、小川監事、木村監事の任期満了が報告された。また、長谷川会長より退任の挨拶があった。

#### (2) 令和6年度役員選出について

梶川理事、戸田理事を再任し、新会長に橋詰理事、新副会長に梶川理事が就任することについて承認された。また、新監事についてはこれから打診する旨報告された。

#### (3) 令和5年度後援会事業に関する学生アンケート結果について

事務局より資料1に沿って報告された。主な報告事項は次のとおり。

- ・学生食堂利用助成について、満足度も比較的高く、事業継続を望む声も多い。一方で、3、4年生は実習等で利用機会が少ないことがわかった。事業開始時期の見直しや、1冊当たりの利用券の枚数、助成されるメニューのレパートリー等が今後の課題である。
- ・語学検定試験助成について、申請数は1件にとどまっている。この事業を知らない学生も多かったが、事業の継続を望む声は一定数ある。
- ・抗体価検査助成について、検査日から助成開始まで時間があつたこともあり、周知はしていたものの領収書を失くしたり、事業そのものを忘れてしまったりする学生が見受けられた。
- ・海外語学研修助成について、参加したくても断念した学生が3割弱存在し、その主な理由が「コロナ」「費用面」「日程」であったことから、「費用面」に関して後援会としてどのような支援ができるかが課題である。
- ・看護師国家試験対策事業について、4年生はみんな参加しており、満足度も高かった。また、保健師国家試験対策に対しても助成を望む声が複数寄せられた。
- ・開学10周年記念ライブについて、参加した学生からは概ね好評を得た。参加できなかった学生からも「参加した学生は楽しそうだったのでよかった」という意見があり、参加した学生からは「家族や友人を誘うことができよかった」との声が多かった。
- ・学生生活において困っていることや大学にあると嬉しいものについて、特に「実習旅費の助成」と「売店の導入」を望んでいることが明らかとなった。

(4) 令和5年度予算の執行状況について

事務局より資料2に基づき説明があり、承認された。主な説明事項は次のとおり。

- ・学生食堂利用券の売上実績は46冊(460食分)で、最終月(1月)に10冊の売上を見込んでいること。
- ・課外活動支援事業のクラブ・サークル助成金については1団体の申請があったこと。
- ・教育研究支援事業の語学検定試験助成金については1名の申請にとどまっているが、学生アンケートで周知されたこともあり、あと2名の活用を見込んでいること。
- ・看護師国家試験対策事業については4年生延べ233名に助成金を支給したこと。また、3年生については3月までに1回の助成を見込んでいること。
- ・未執行予算があるため、第1回役員会ならびに通常総会において承認いただいたとおり、海外語学研修助成金の一人当たりの助成額を30,000円とすること。
- ・学生本人の逝去を受けて、弔電と生花代を予備費から支出したこと。

(5) 卒業記念品について

事務局より資料3に基づいて次のとおり説明された。

- ・事務局よりいくつか候補を提案し、長谷川会長ならびに白木理事(ともに4年生会員)に選定していただいた結果、USBメモリを贈呈することとなった。
- ・化粧箱に名入れすることで予算超過となるが、他事業の未執行予算もあるため原案のとおり作成させていただきたい。

<主な意見・質疑応答>

橋詰副会長：

卒業記念品については敦賀市立の看護大学ある以上、敦賀市内の業者で発注すべきと考えるがどうか。

事務局：

USBの種類や名入れの対応、価格等を加味して業者を選ばせてもらった。

梶川理事：

敦賀市内に限定して業者を選定するとなれば入札等で公平性を保つ必要が出てくるのではないか。

事務局：

敦賀市内の業者で対応できるところを数社当たらせていただく。

山本理事：

これまでの卒業記念品は敦賀市内の業者に発注していたのか。

事務局：

必ずしもそうではない。卒業記念品を取り扱っている業者等で発注していた。

山本理事：

敦賀市内で予算内に抑えられるのであればいいが、倍以上高くなってくるとなればそこにこだわるのはどうかと感じる。

橋詰理事：

いくらでできるかわからないので、市内の業者に確認してほしい。

事務局：

承知しました。

(6) その他

事務局より、今後学生死亡のケースがあった場合には予備費から今回と同等の支出を行うこと、その旨を年度当初の事業計画に明記することが提案され、承知された。

2 報告

(1) 今後の予定について

事務局より、今年度の卒業式は3月23日（土）に決定した旨報告された。

(2) その他

山崎教授より、今年度をもって退職されることの報告があった。

3 その他

事務局より、次年度の第1回役員会は4月下旬ごろ開催する予定であることが報告された。

また、全体を通して、各理事から次のような意見が出た。

八原理事：

今年から理事になったが、10周年記念事業や学生たちの生活環境を整えるために議論されており感心した。学生アンケートの結果をみて、実習交通費の助成に関する要望が多いようなので、後援会としてそのような声を拾い上げていけるとよい。

梶川理事：

2年間理事を勤めてきたが、基本的に学生のための事業を実施しているので学生アンケートの結果がすべてである。学生たちの声に応えられるような改善ができるとよい。また、学生への周知が不十分な事業もあるためここを改善していきたい。さらに、保護者相互の親交も図れるような取り組みができるとよい。

戸田理事：

同じ理事でも話したことがない方も多いため、会議だけでなく、親睦会などもできるとよい意見交換の場になるのではないかと。

山本理事：

学生アンケートの要望が1つでも実現できれば学生たちも集まって賑やかになっていくと思う。こういった学生の声を大切にしていけばよい後援会になっていくのではないかと。